



工知能 (AI) ツールの適切な使用に関する方針

2026



パート1 - 業務中にAIを使用するサービスプロバイダーの義務とは何か? /4

AIを使用する前の前提条件 /5

AI出力が生成された後 /7

サービスプロバイダーの生成AI利用に関する
具体的な義務: /8

サービスプロバイダーがAIプロバイダーとして負う義務は、その割り当ての文脈でどのようなものか? /9

この憲章(「憲章」)は、クラランス・グループに属するクライアントを代表して行動するサプライヤー、サービス提供者、パートナーおよびその他の関係者がAIを利用するための枠組みを提供することを目的としています。本条項は、個人データの処理や知的財産権および画像権に関する問題を含むプロジェクトに適用される特定の条項には影響なく適用され、サービス提供者(以下「サービスプロバイダー」または「あなた」)とそのサービス提供者を雇用するクラランス・グループ会社(以下「クラランス」)との間で適用されます。

すべてのサービスプロバイダーは、AIを責任を持って使用し、その使用に際して警戒を強化し、本憲章に定められた規則およびそのようなAI利用に関するすべての法律・規制を尊重することを約束することが不可欠です。

人工知能システムとは何ですか？

「人工知能システム」または「AI」という用語は、さまざまな自律レベルで動作し、導入後に適応性を示せるよう設計された自動化システムを指します。また、明示的または暗黙的な目的で、さまざまな種類のコンテンツやデータ(「入力」)から派生するものです。特に物理的または仮想環境、テキスト、画像、音声、ビデオに影響を与える予測、推奨、意思決定などの出力(「出力」)を生成する方法を受け取ります。



パート1 - 業務中にAIを使用するサービスプロバイダーの義務とは何か?

AIを使用する前の前提条件：

クラランスでの業務で人工知能システムを使用する前に、以下を行います。

使用前に人工知能システムの一般利用規約 (GTCU) をよくご確認し、意図された使用・運用に適した保証を提供するライセンス (例: *Clarins* の代表による出力の所有権) を選択してください。

知的財産および個人データ保護に関する現在および将来の適用される規制に準拠し、透明性、トレーサビリティ、倫理的・社会的配慮に関する人工知能を尊重し、人工知能を尊重してください。

人工知能システムが機密性とセキュリティに関して十分な保証を提供していることを確認しましょう。人工知能システムの発行者が設定したセキュリティ設定を尊重し、決してそれを改変しようとはなりません。

AI生成出力が作成された日時の利用規約を含む文書のコピーを保管してください。クラランスは紛争が発生した場合、上記のすべての物品をあなたに要求する義務がある場合があります。



AIを使用する前の前提条件：

クラランスでの業務で人工知能システムを使用する前に、以下を行います。

人工知能システムが入力データと出力データを再利用してモデルを訓練しないように注意してください。人工知能システムがデフォルトでこのデータを再利用する場合は、入力と出力の機密性を確保するためにこのオプションを無効にしてください。

(i)すべての参加者に事前に通知し、(ii)明確な同意を得ることなく、会議、電話、インタビュー、または会話(対面またはリモート)の内容を録音、書き起こし、要約、分析するために人工知能システムを使用することは控えてください。

人に大きな影響を与える可能性のある決断を下すために人工知能システムを使うのは控えてください。人工知能システムによって生成される出力を検証するために、人間の介入が行われるべきです。データ主体は事前に通知を受け、該当する場合は同意を示し、特にアクセス権、訂正権、異議申し立て権を行使できる権利を持つべきです。

人間の判断力、共感、または微妙な理解を必要とするタスク(機密データに基づく生体認証、職場での感情認識、インターネットやCCTVからの画像抽出による顔認識など)には人工知能システムの使用を控えてください。



AI出力が生成された後：

AIの出力は不正確、時代遅れ、偏り、誤解を招く、差別的、危険または違法、または第三者の権利を侵害する可能性がある。このような出力は、当社の製品の不具合や設計上の欠陥、不正確さ、その他の悪影響を引き起こし、クラランスの評判や当事者間の関係性の質を損なう可能性があります。

そのような出力を使用する前に、体系的に以下のことを検証しなければなりません：

- **それが正確さです。** AIが生成したすべての結果をチェック・検証し、セキュリティの脆弱性や悪意あるコンポーネントを検出します。
- **上記のデータを含むものではない、またはそのデータを得ていないこと** (例：結果に第三者の商標が含まれている場合は、使用前に修正しなければならない)。

一般的に、AI生成の出力は、いかなる形でも、特に意思決定のためであっても、そのまま使用してはなりません。AI使用中は人間の監督を維持し、AIで作成された要素の全部または一部を含む作品に対して最終的な管理権を保持しなければなりません。



サービスプロバイダーの生成AI利用に関する具体的な義務：

Clarinsとあなたとの間の契約に記載された知的財産権および画像権に関する具体的な条項を損なうことなく、生成人工知能システム(「プロンプト」)の指示を作成する際には、以下のことをしなければなりません。

プロジェクトの性質と目的に応じた適切な場合、出力を生成するために使用されたすべてのツール、手法、創造的なアイデア、プロンプト(およびそれらのバージョンや修正)を、正確かつ年代順に記録してください。また、これらのプロンプトとアウトプットが発行された日付も記録しなければなりません。これらの要素は、クラランスがアウトプット生成に寄与した創造的プロセスを正確かつ効果的に追跡できるようにしなければなりません。

出力が生成された日点で有効な人工知能システムの利用規約を含む、ドキュメントおよび関連するプロンプトのコピーを保管してください。クラランスは紛争が発生した場合、上記のすべての要素の提出を求めることがあります。

著作権者の事前書面による許可を得ていなければ、第三者に属する保護された作品(画像、テキスト、ビデオおよび/または音声録音など)、商標、ロゴ、またはその他の保護対象の要素からのコピーやインスピレーションの取得を依頼することは控えてください。

生存者または故人の画像や声を、よく知られているかどうかにかかわらず、事前の書面による許可なしに、その画像や声から着想を得るよう依頼することは控えてください。

クラランスの機密情報や戦略情報、個人に関する個人データや「機密」データの含めは控えてください。

出力のポイントIIで示されたチェックを実行してください。



サービスプロバイダーがAIプロバイダーとして負う義務は、その割り当ての文脈でどのようなものか?

サービスプロバイダーがAIプロバイダーとして負う義務は、その割り当ての文脈でどのようなものか？

個人情報の処理や知的財産、画像権に関するプロジェクトに関して、クラランスとあなたと締結した契約に定められた具体的な条項を損なうことなく、AIの提供者としてあなたが守るべき義務を改めてお知らせします。

システム分類

AIのリスクレベル(許容できないリスク、高リスク、限定リスク、最小リスク)を述べ、関連する正当化を提示してください。

ドキュメントと透明性

リリース前に、ユーザーマニュアル、仕様、制限、意思決定のロジック、特定リスク、人間の監督および保守手順を含むAIの完全な技術文書を提供します。

コンプライアンスと評価

AIが必要な適合性評価(該当する場合はCEマーキング)を経ていることを確認し、包括的な技術資料を通じてその証拠を提供できるようにしましょう。

リスク管理とセキュリティ

データガバナンス、AIの堅牢性、正確性、サイバーセキュリティ、AI関連リスクの特定、評価、軽減を可能にするリスク管理システムを整備してください。このリスク管理システムは、AIのバージョンや修正のトレーサビリティ、インシデントおよび是正措置の記録を可能にしなければなりません。

EU規則2024/1689第3条の意味におけるAI提供者とは、汎用AIシステムまたはAIモデルの開発を委託し、市場に投入または自らの名称またはブランドで運用する自然人または法人、公的機関、機関またはその他の団体を意味します。 有料でも無料でも。

サービスプロバイダーがAIプロバイダーとして負う義務は、その割り当ての文脈でどのようなものか？

データ主体の権利

AIの影響を受けた個人の権利、特に情報公開権と異議申し立ての権利を尊重すること。

倫理原則と差別禁止の遵守

あなたは、差別禁止と平等な扱いを重視する倫理的原則に準拠したAIを設計・開発・提供することに取り組む。



そのために、AI使用に関連する偏見や差別的影響を防止・検出・是正するために必要なすべての対策を実施し、AIの訓練に使うデータが関連性があり、代表性があり、偏りなく、完全であることを確認し、差別や不正確な結果を防ぐ必要があります。



